

## 『弁当の日』の取組の効果

「弁当の日」は、「食に関する指導」の目標に示されているような、食に関する様々な実践力を、児童生徒に総合的に身に付けさせる上でとても効果のある取組です。

また、献立決め、材料の買い物から片付けや会食までの、「弁当の日」の取組における一連の過程には、食に関する事項以外にも実に多様な教育的価値が含まれています。

特に、県教育委員会では、「弁当の日」取組の効果を次のように考えています。

- ✳ 実際に弁当を作ることによって、「食に対する関心」を高めることができる。
- ✳ 献立作りから、買い物、調理、盛り付け、片付けまでの一連の作業（またはその一部）を行うことによって、自分の「食」を管理する力、選択する力、調理する力などの「食に関する実践力」を培うことができる。
- ✳ 弁当作りの苦勞などを実感することによって、毎日の食事や家族、生産者等に対する「感謝の心」を育むことができる。
- ✳ 自ら考え、判断し、表現する力を発揮しながら弁当を作ることによって、人生をたくましく「生きる力」（「生きぬく力」）を育むことができる。
- ✳ 自力で取り組み、作業を任せられ、褒められることによって、「自立」が促される。
- ✳ 取組の随所で会話や交流が生まれることによって、家族や友達間の「絆」を深めることができる。
- ✳ テーマを設定するなどの工夫によって、「地場産物や地域の食文化等に対する関心」を高めることができる。
- ✳ 子どもとその周りの大人との絆が深まることによって、「家庭や地域の教育力」の復権を期待することができる。
- ✳ 手出しすることを我慢し、見守ることの大切さに気付くことで、「親の成長」も促される。・・・等々

### < ※ 参考 … 「食に関する指導」の目標 >

- **食事の重要性** ～ 食事の重要性、食事の喜び、楽しさの理解
- **心身の健康** ～ 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方の理解及び自ら管理する能力の育成
- **食品の選択能力** ～ 正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力の育成
- **感謝の心** ～ 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心の育成
- **社会性** ～ 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力の育成
- **食文化** ～ 各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等の理解及び尊重する心の育成

